

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	佐賀市排水対策基本計画（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	佐賀市														
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、100mm/h安心プランに基づき、市民と行政が一体となって浸水対策を実施することにより、市街地の浸水時間の短縮を図り市民生活への影響を最小限にする。														
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		4,740	A	4,359	B	0	C	381	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	8.03	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ H26末 ）	（ H29末 ）	（ H31末 ）
1	佐賀市街地における浸水時の想定浸水面積（浸水深10cm以上）を171ha（H26末）から126ha（H31末）に減少させる。			
	佐賀市街地において、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨によって生じる想定浸水面積を浸水シミュレーションにより算出 想定浸水面積 = 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨によって生じる建物用地浸水深10cm以上の想定浸水面積	171 h a	144 h a	126 h a
2	佐賀駅周辺（観測地点）における浸水時の浸水継続時間（浸水深10cm以上）を2時間（H26末）から30分以内（H31末）に短縮する。			
	佐賀駅周辺における現況と事業後によって生じる浸水継続時間差を浸水シミュレーションにより算出 浸水継続時間 = 事業後の浸水継続時間	120分	60分	30分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	新設	十間堀川雨水幹線整備	L=1500m	佐賀市	■	■	■	■	■	230	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-002	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	新設	新村愛敬雨水幹線整備	狭窄部整備	佐賀市	■	■	■	■	■	350	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-003	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	ポンプ 場	新設	厘外雨水ポンプ場	ポンプ場 Q=2m3/s	佐賀市	■	■	■	■	■	1,100	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-004	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	新設	尼寺雨水幹線整備	L=1.3km、調整池A=4.2ha	佐賀市	■	■	■	■	■	850	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-005	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	ポンプ 場	新設	尼寺雨水ポンプ場	ポンプ場 Q=6m3/s	佐賀市	■	■	■	■	■	320	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-006	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	新設	諸富中央雨水幹線整備	狭窄部整備	佐賀市	■	■	■			100	4.9	策定済
		浸水総合																	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	ポンプ 場	新設	石塚雨水ポンプ場	ポンプ場 Q=4m3/S	佐賀市	■	■	■			920	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-008	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	改築	平松厘外雨水幹線整備	L=330m	佐賀市				■	■	324	4.9	策定済
		浸水総合																	
	A07-009	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	改築	城東川雨水幹線整備	L=770m、調整池A=1.1ha	佐賀市				■	■	165	4.9	策定済
		浸水総合																	
											小計						4,359		
										合計							4,359		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	-	新設	浸水標尺の設置・活用	浸水常襲地区 標尺設置	佐賀市	■	■	■	■	■	30		-	
		浸水標尺を設置、活用することにより、浸水頻度の高い地区の冠水傾向を把握するとともに、住民の災害に備える意識を促し浸水被害の軽減を図る。																		
	C07-002	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	-	新設	佐賀城お濠貯留施設活用 整備	ゲート設置	佐賀市	■	■	■	■		90		-	
		既存の佐賀城お濠を雨水調整池として活用することにより、浸水被害の軽減を図る。																		
	C07-003	下水道	一般	佐賀市	直接	市民・佐賀市	-	新設	市民主体の河川清掃活動 の支援	清掃用機材購入、浚渫の側面 的支援	佐賀市	■	■	■	■	■	20		-	
		基幹事業と一体的に実施することにより、市内水路の排水機能の維持・向上を図るよう、河川清掃活動を支援する。																		
	C07-004	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	新設	防災総合システム整備	施設の遠方監視・操作	佐賀市					■	■	230		策定済
		雨水幹線整備と一体的に整備することにより、水防時の早期操作が可能となり、浸水被害の軽減が期待される。																		
	C07-005	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	-	-	内水ハザードマップ作成	佐賀市街化区域における内水 ハザードマップ作成	佐賀市						■	11		策定済
		ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																		
												小計						381		
											合計						381			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

佐賀市公共事業評価監視委員会で事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年2月

公表の方法

佐賀市上下水道局ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

雨水幹線や雨水ポンプ場を整備することにより、佐賀市街地における浸水時の想定浸水面積が171haから142haに減少し、また、佐賀駅周辺における浸水継続時間を2時間から60分に短縮でき、佐賀市街地の浸水被害軽減に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

一部雨水事業においては、令和2年度より大規模雨水処理施設整備事業へ移行し、引き続き浸水被害軽減のために整備を進めている。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	126 h a	工事の入札不調に伴い、事業量が減少したため、実績値が目標値を下回った。
	最 終 実績値	142 h a	
2			
	最 終 目標値	30分	工事の入札不調に伴い、事業量が減少したため、実績値が目標値を下回った。
	最 終 実績値	60分	